

「地域を学ぼう」竜丘地区文化祭 雨にも負けず大盛況



水引でクリスマスリースづくり

今年の竜丘地区文化祭も、開会の言葉と共に緑ヶ丘中学校吹奏楽部のみなさんによる「ファンファーレ」でその幕が開きました。

また、開会式に併せて、型絵染師で「人間国宝」芹沢鈺介氏の内弟子の竜丘出身の下平清人氏から、故郷である竜丘を思い描いた型絵染屏風の寄贈式典が行われました。

開会式に続いて、緑ヶ丘中学校吹奏楽部のみなさんのステージ発表演奏がありました。生徒さんによる可愛い演目紹介の後、見ごたえのあるソロパートなどを織り交ぜながら和やかな雰囲気の中、みなさん聞き入っていました。その後、緑ヶ丘中学校合唱部のみなさんによる合唱が発

十一月七日・八日、竜丘地区のみなさんの学習・文化活動の成果を一堂に集めた、竜丘地区文化祭が行われ、大勢の来場者で賑わいました。



による白バイが展示されており、お子さんや女性消防団員などが、白バイにまたがって記念写真を撮るなどして盛り上がりつつありました。消防団の会場では、消防車の写生大会が開催され、約五十作品の力作が描かれました。また、消火器の体験コーナーでは、子供たちが真剣に的に当てようとしている姿が微笑ましくありました。

鷺流峽復活プロジェクトの会場では、伐採した竹を燃料としたボイラーで足湯の体験ができ、来場者は湯に浸かつて癒されていました。更に竹燃料による焼き芋やご飯などが振る舞われていました。現在、プロジェクト参加者を募集中です。興味のある方はセンター所長までお問い合わせください。

特別企画展では、大正時代、竜丘における「自由教育」についての木下紫水先



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口	6,942人
男子	3,367人
女子	3,575人
世帯数	2,525戸
(27年10月末現在)	



「竜丘小四年」の学習成果

竜丘小学校では、総合学習の授業に「ふるさと学習」として、学年またはクラスごとに様々な学習が行われています。今回、十月三十日に行われた四年二組(沼尾担任)の「ひまわりの茎を使った紙すき」を取材しました。この授業は、夏の間に子どもたちが育てたひまわりを使って何かできないかと沼尾先生が考え、発案し、子どもたちと取り組んでいるもので、枯れたひまわりから、きれいな紙を作り出し、手紙を書くことなどが目的です。

すでに今回が四回目の授業で、子どもたちは手慣れた様子で紙づくりを始めました。乾燥したひまわりの茎を割り、中身の「ずい(白い綿のようなもの)」を取り出し、ずいとお水、のりをミキサーで混ぜます。よく混ぜたものを紙すき器に流し込み、水分を絞り、絞ったものを数日乾燥させればひまわり製の紙が完成します。ずいの取出しに茎の外側や絵の具を混ぜるとカラフルな紙になり、ミキサーの混ぜ具合により紙の粗さや、厚みが変わったりと、

様々な色や厚みの紙を作ることが出来ます。また、乾燥前に草花などでデコレーションすることもでき、子どもたちは思い思いの紙を作ることができました。さらに今回は、前回までに製作した紙をよりきれいに仕上げようと、アイロンによるプレス加工にもチャレンジしました。曲がっていた紙を平らに延ばすことができました。



な目標があり、普段の授業にも増して意欲的に取り組んでいる様子がうかがえる。」と沼尾先生。今後はこのような授業に地域の方が「先生」として協力できると、より充実したものになるのではないかと感じました。

今、世界中には悲しみが広がっている。先日パリの無差別同時テロ事件によって、多くの犠牲者が出ており、市民生活が恐怖でおびやかされている一方、市民はテロに決して屈しない強い思いが伝わってきます。我々も他人事として考える事なく、何か解決への糸口や術は、ないのだろうか？歴史的な事もあり大変難しい問題です。

話は変わってスポーツにおいてはラグビーワールドカップ、日本代表が歴史的勝利三勝で世界を驚かせた。日本人としての素晴らしさ、チームワークと忍耐力、この勝利の裏には、過去四年間の厳しい練習の成果が発揮された瞬間でした。東京オリンピックを迎えるにあたっていい弾みとなりました。子供たちもこの活躍で特に五郎丸のルーティーンポーズは、人气的的となっています。ラグビーの東京オリンピックの夢舞台で活躍を目指す目標となってきました。



生が描いた学校沿革史と、当時の品々が展示されました。合わせて、竜丘市民大講講座が開かれ、木下陸奥氏を招いて竜丘の教育文化に対する紫水の想いについて語っていただきました。

展示物は、各団体、サークル、関係機関などの熱のこもった作品や活動が、所狭しと展示されていました。作品の前で足を止めて見入る人や話に花が咲いている姿が見られました。

二日目は、あいにくの雨天になってしまい、屋外で予定していた催しが小学校体育館で行われました。「時又保育園のマーチングバンド」竜丘保育園の獅子舞と



恒例の飯田商工会議所竜丘支部の宝授けでは、鬼気迫る圧力を感じるほど大いに盛り上がり、景品交換では小さなお子さんが特等を当てて喜んでいました。

「おいしんぼプラザ」「そばの会野楽路」「竜丘自由

恒例の飯田商工会議所竜丘支部の宝授けでは、鬼気迫る圧力を感じるほど大いに盛り上がり、景品交換では小さなお子さんが特等を当てて喜んでいました。

「おいしんぼプラザ」「そばの会野楽路」「竜丘自由

型絵染作家 下平清人氏より
屏風「春夏秋冬の図」寄贈される

今年度の文化祭の折、型絵染作家の下平清人さん桐林小池地区出身、現在は那須塩原市在住)から、型絵染屏風「春夏秋冬の図」を寄贈いただきました。下平さんは当時の竜丘中学校を卒業後、人間国宝の芹沢鈺介氏に師事すること六十余年、その間ふるさとである竜丘が常に頭の中にあり、今回少年時代在野に咲いていた野花「春水仙」「夏紫陽花」「秋・桔梗」「冬・山椿」を作品化した



「夢」といえば、最近話題のあるドラマでのフレーズ「あなたには夢があるか?」「オレにはある。」このインパクトある表現は仕事人として誇りを持っているか考えさせられる。この町工場を舞台に様々な人間模様が、繰り広げられる。夢とは?自分のやりたい事、信念、品質、プライドなど、本当に仕事に対する姿勢や、大切な事を気づかせてくれます。又、勇気づけられるシーンが沢山あります。企業の不正等が問題となっている昨今、今一度、自分の夢、原点に返って考える必要があります。

竜丘橋新たに 幹線道路の改良進む



去る十月四日に市道二一四十八号線駄科桐林線竜丘橋の開通式が、新しくなった橋で行われました。式典には自治会関係者、行政、事業者、周辺の住民など約二百人が参加し開通を祝いました。

市道二一四十八号線駄科桐林線は、古くから竜丘地区の主要幹線道路として利用されてきました。桐林クリンセンター建設に係る地域振興策の一貫として、近年、拡幅工事が進められました。竜丘橋についても、現道の橋の上流に新たに新設することとなりました。平成二十五年から工事に着手し、通行止めなども

あり不便でしたが、この度開通しました。開通式では、神事が執り行われた後、駄科区南平の獅子舞が祝舞を披露しました。今年度新たに獅子頭や屋台などを新調したそう、真新しい獅子で開通を祝いました。その後、テープカットをし、下平俊郎さん（桐林）世帯の三世代夫婦が先頭に、獅子舞や住民の皆さんで渡り初めをしました。

式では、竜丘地区自治会の熊谷和美会長が、市道二一四十八号線は、通勤通学を中心とする道で、拡幅工事が進み橋のみ残っていたが開通

祝 東海大会出場！ 緑ヶ丘中学校吹奏楽部 銅賞入賞

今年度の全日本吹奏楽コンクール中学生の部に緑ヶ丘中学校吹奏楽部が出演し、県大会で見事金賞を受賞、市内の中学校では二十年ぶりとなる長野県代表として東海大会に出場を果たし、銅賞という好成績を収めました。竜丘地区の部員二人に出場の感想をお聞きしました。

織田 渚さん
三年（長野原）

演奏曲「ローマの祭」は

今まで竜流峡の断崖絶壁を上下一方からしか見ることがありませんでしたが、今回の活動をきっかけに様々な角度から見て行動することにより、竜流峡の復活、新たな魅力の創出が期待できると思っていますので、一緒に楽しく取り組みましょう。

思い出の 三世代渡り初め

下平 俊郎・信子
武彦・眞千子
洗太・弘子

我が家に夫婦三代の渡り初めの話があり、こんな巡り合わせはめったにあることではなく、縁起のよいことでもあるのでお引き受けしました。

当日は天候にも恵まれ、記念に残る日となりました。竜丘橋がこれからも大切に、



りいつそう安全に心がけ、また、安全に利用されることを願っています。

25回の節目 盛大に 上川路まつり

十一月三日、恒例の第二十五回上川路まつりが上川路公民館周辺において多くの区民参加のもと盛大に行われました。例年のごとく、各種団体がそれぞれの持ち場で準備・企画をしてまつりを盛り上げました。

今年は新しい企画として、体育部主催の組合対抗ベタック大会が行われました。意外に難しく、あちらこちらで歓声やため息が交差していました。

十一月三日、恒例の第二十五回上川路まつりが上川路公民館周辺において多くの区民参加のもと盛大に行われました。例年のごとく、各種団体がそれぞれの持ち場で準備・企画をしてまつりを盛り上げました。

午後の演芸大会では、二十五年の節目というところで、「二十五年を振り返って」と銘打ったスライドショーが上映され、懐かしむ



クールなダンスを披露

声があがっていました。五年後の第三十回のまつりには、第一回のときに埋めたタイムカプセルが開けられる予定で、区民の楽しみは広がるばかりです。

「天竜川竜流峡復活プロジェクト」 活動メンバー募集中！

「竜流峡の溪谷美を一緒に取り戻してみませんか？」

天竜川竜流峡は、「天竜小渋川水系県立公園」の一部で、その美しい溪谷は天竜舟下りをはじめとする観光面において貴重な役割を果たしてきました。しかし、近年は放置竹林の浸食やごみの不法投棄・ポイ捨ての増加により美しい景観が損なわれています。それに加え道路沿線の支障木等による危険性が高まるなど地域の大きな課題となっています。今年九月に行ったガードレール洗浄作業もその取り組みの一つです。今回メンバーを募集している「天竜

川竜流峡復活プロジェクト」は、竜丘地区自治会と天竜舟下り隊が連携して立ち上げた活動組織で、地域内外より志を共にする仲間を集め、放置竹林の伐採作業、竹を活用した環境教育体験活動を展開していきます。具体的には、竜流峡右岸約二haの放置竹林の伐採作業を行うほか、切り出された竹を活用し、竹いかだ、竹炭、門松づくり体験等を企画していく予定です。活動はすでにスタートしていますが、メンバーは継続して募集中です。ぜひご参加ください。

プロジェクト代表
曽根原宗夫氏
(天竜舟下り隊船頭)



手入れの行き届いていない竹林

へ行きたい」と夢を



熱き思いも天には勝てず 市民運動会中止

「本年度の運動会は、残念ではありますが、中止にします。」朝五時三十分、中止が決定しました。中止の決定を受け、各分館の役員の皆さんは連絡に大忙しでした。その後、賞品の分配お弁当の配布など、一日残務処理に追われました。来年は晴天のもと、二年分の思いを込めて開催できる事を願います。



長野県 公民館大会表彰

九月十七日に行われた、長野県公民館大会において、長年公民館活動に携わった方の表彰があり、竜丘公民館からは、小市雅子さん（時又）と齋藤浩さん（長野原）が表彰をされました。

体育委員
小市 雅子さん
(H17～26年度)

広報委員
齋藤 浩さん
(H12～26年度)